

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護学原論		BNSS1L01	30101	1前	1(30)	必修
担当教員	久留島 実姫	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	豊田 久美子	実務歴	有	看護師として病院/診療所に8年勤務		
概要	看護学のパラダイムである人間、健康、環境、看護の概念と相互の関連性を概観し、'看護学とは・看護実践とは'について考究する。また、看護師に求められる人権の尊重や権利擁護、看護専門職としての社会的責任と役割を遂行するための看護の基礎を学ぶ。					
学修目標	1) "看護とは"を述べることができる。 2) 看護の専門性(固有の価値)について述べるができる。 3) 看護専門職になるために、何をどのように学んでいくか説明できる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容		予習・復習内容			
1	ガイダンス アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーから、看護専門職になるための4年間の学修プロセス		予習:シラバス、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを読む。 復習:4年間の年間スケジュールを作成する。			
2	看護理論からみる看護(1) ナイチンゲール		予習:ナイチンゲール「看護覚え書」P13~20、227~243を読む。 復習:ナイチンゲールの"看護とは"について説明する。			
3	看護理論からみる看護(2) ヘンダーソン		予習:ヘンダーソン「看護の基本となるもの」P8~31を読む。 復習:ヘンダーソンの看護独自の機能について説明する。			
4	看護学のパラダイム(1)		予習:ナイチンゲール、ヘンダーソンに共通することは何か記述する。 復習:看護学のパラダイムについて説明する。			
5	看護学のパラダイム(2) 人間と環境①		予習:記録用紙を記入し、持参する(第4回終了時に配布する) 復習:授業中に新たに得た内容を含めて、看護の対象である人間について自己の考えを記述し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)			
6	看護学のパラダイム(3) 人間と環境②		予習:環境に関する記録用紙を記入し、持参する(第5回終了時に配布する) 復習:授業中に新たに得た内容を含めて、人間と環境について自己の考えを記述し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)			
7	看護学のパラダイム(4) 健康と生活①		予習:健康に関する記録用紙を記入し、持参する(第6回終了時に配布する) 復習:授業中に新たに得た内容を含めて、健康について自己の考えを記述し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)			
8	看護学のパラダイム(5) 健康と生活②		予習:生活と生活行動に関する記録用紙を記入し、持参する(第7回終了時に配布する) 復習:授業中に新たに得た内容を含めて、生活と生活行動について自己の考えを記述し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)			
9	看護学のパラダイムまとめ		予習:第5~8回の講義中にアナウンスする 復習:授業中に新たに得た内容を含めて、看護・人間・環境・健康と生活・生活行動の関係性について自己の考えを記述し、期限内に提出する(提出方法は別途アナウンスする)			
10	看護の歴史		予習:看護の歴史に関する記録用紙を記入し、持参する(第9回終了時に配布する) 復習:期限内にナーシングスキルの課題を実施する(詳細は別途アナウンスする)			
11	現代社会と看護		予習:法律・倫理に関する記録用紙を記入し、持参する(第10回終了時に配布する) 復習:期限内にナーシングスキルの課題を実施する(詳細は別途アナウンスする)			
12	専門職としての看護(1) 法律・倫理		予習:保健医療システムに関する記録用紙を記入し、持参する(第11回終了時に配布する) 復習:期限内にナーシングスキルの課題を実施する(詳細は別途アナウンスする)			
13	専門職としての看護(2) 教育制度・研究		予習:教育制度・研究に関する記録用紙を記入し、持参する(第12回終了時に配布する) 復習:第12回・13回の講義中に新たに得た内容を含めて、看護専門職としての看護について自己の考えを記述し、期限内に提出する(詳細と提出方法は別途アナウンスする)			

14	看護実践の基盤となる看護技術	<p>予習:看護過程と看護技術に関する記録用紙を記入し、持参する(第13回終了時に配布する)</p> <p>復習:講義中に新たに得た内容を含めて、看護過程と看護技術について自己の考えを記述し、期限内に提出する(詳細と提出方法は別途アナウンスする)</p>
15	まとめ～智・人・命をいつくしむ看護	<p>予習:1～14回の講義資料、ノートを復習する。</p> <p>復習:看護とは、看護の専門性について記述する。</p>
使用 テキスト	<p>① フローレンス・ナイチンゲール(2011)『看護覚え書』現代社.</p> <p>② ヴァージニア・ヘンダーソン(2016)『看護の基本となるもの』日本看護協会出版社.</p> <p>③ ロイロノートスクール</p>	
参考図書	適宜紹介する	
成績評価 基準	定期試験60%、予習・復習課題および授業参加度(グループワーク含む)40%	